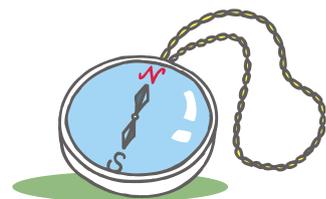


羅 針 盤



第 14 号

令和4年（2022年）7月20日（水）

◆ 礼は往来を尚（たつと）ぶ

明日から35日間の夏季休業期間、いわゆる夏休みに入ります。昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症を抑止しながらの活動となりますが、日頃の学校生活での中心となっていた学習活動や部活動に限るのではなく、長期にわたる時間を有効に活用して、1学期にはなかなか時間をかけて取り組めなかったような内容に、生徒の皆さんには是非チャレンジしてもらいたいと思います。だからと言って、忘れてならないのは、「当たり前前のことを当たり前にする」ということです。中国の『礼記（らいき）』という書物に「礼は往来を尚（たつと）ぶ。往（ゆ）きて而（しか）して来たらざるは礼に非（あら）ざるなり。来たりて往（ゆ）かざるも亦（また）礼に非（あら）ざるなり。」という言葉があります。その意味は、「礼とは人と人との間の行動の基準のようなもので、それは往き来を尊重するものである。こちらが与えた礼なる行為に対して、相手から礼なる行為が返ってこないのは、誠の礼ではない。また、逆もそうである。」ということです。つまり、「挨拶」で言えば、朝登校してきて、「おはよう」と声をかけられたら、「おはよう」と返すことが礼儀であるということです。整理整頓をすることや、後片付けをすることも同じです。部屋に入るときなどにスリッパを使って、用が終わればきちんと元の位置に揃えて並べて返しておくといったようなこともそうです。始業式の日にも、一人ひとりが自主・自立の確立に向けて、心掛けてほしい「挨拶ができる」、「人の話を素直に聴くことができる」、「ルールを守ることができる」という3つの事が『あ・ひ・る』が実行できるようにといったお話をしました。生徒会の目標として掲げられた『SDGs』の中にも、「元気にあいさつができる」が含まれていて、「当たり前前のことが当たり前でできる」といったことは、そのことを理解していても実行に移さなければ全く意味のないこと

とで終わってしまいます。1学期の終業式を迎えた今日のこの日に、もう一度しっかりと振り返ってみてほしいと思います。そして、一人ひとりが責任ある行動をして学校生活を過ごせたのかを自分自身に問いかけてみてください。明日から始まる夏季休業中も、この「礼は往来を尚（たつと）ぶ。」といった心がけを忘れることなく有意義な時間を過ごしてもらいたいと思っています。2学期には、君たち一人ひとりの大きく成長した姿が見られることを大いに期待しています。健康には十分に留意して、元気な姿で、2学期の始業式にお会いしましょう。



明日より35日間の夏季休業期間に入ります。長期にわたる夏休みでとなりますが、ご家庭でも、健康には十分な注意を払いながら、子どもたちが規則正しい生活を過ごせますよう、ご指導をお願いいたします。また、2学期以降も引き続き、住吉中学校の全ての子どもたちのために、よりよい教育活動を展開して参りますので、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくをお願いいたします。（校長 坂井伸治）

